

みなと通信



NPO法人 港まちづくりファンタジーハーバー こまつしまの取り組み

小松島本港地区は、昭和60年に国鉄小松島線が廃止。平成11年には、和歌山港とのフェリー航路が沖洲地区へ移設したため、小松島本港地区に訪れる人は大幅に減少しました。そこで、かつてのにぎわいを取り戻そうと市民や、地元団体、関係者等が参加する「小松島港ワークショップ」を経て、「NPO法人 港まちづくりファンタジーハーバーこまつしま」が平成14年に設立されました。

設立以降、小松島みなと交流センターkocolo（旧フェリーターミナルビル）でのフリーマーケットや産直市、喫茶スペースの提供による管理運営、及び小松島本港地区の活性化を推進するため“ビジターハーバーフェスティバル”や“kocoloフェスティバル”、関係機関と連携し“港まつり”や“うまいもん祭り”、“海鮮朝市”など各種取り組みを実施した結果、小松島みなと交流センターkocoloの来訪者数は、平成14年には約3万2千人でしたが、平成21年：約13万3千人、平成24年度：約11万2千人と近年、港のにぎわいを取り戻しつつあります。



産直市



Kocoloフェスティバル



うまいもん祭り

読者のみなさま

読者のみなさま、こんにちは、事務所長の藤野でございます。

寒さも衰えははじめ、春らしくなってきました。みなさま、いかがお過ごしでしょうか。

今回の「あわみなと通信」では、「徳島小松島港災害時事業継続計画（徳島小松島港BCP）」について、紙面を多く割いております。

徳島小松島港は、国際定期コンテナ航路、フェリー航路や多くの貨物を取り扱う港です。そのため、地震などの大規模災害後、いかに早く徳島小松島港の機能を回復させるかが重要な課題となります。そこで、昨年より港に関わる方々と検討を行い、今回策定する事ができました。

今後も各関係者の方々と、協力しつつ災害への対応などを進めてまいります。

なお、徳島小松島港の取扱貨物などについては、「こまぼんのなるほど！みなと講座」に詳しく掲載しておりますので、併せてこちらもお覧下さい。

今後とも当事務所の事業に、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、NPO法人港まちづくりファンタジーハーバーが管理運営しております「kocolo」へも遊びに来ていただければ幸いです。

時節柄、お体を大切にお過ごしください。

小松島港湾・空港整備事務所長 藤野 正宏

出前講座の申し込み受付中！

当事務所では、海と空の「みなと」のこと、また当事務所の仕事について、広く皆さんに知っていただくために、出前講座（みなと学習、環境学習、防災学習）を開講しています。

楽しく学べる当事務所の出前講座、現場見学会のご依頼を受け付けています。



出前講座、現場見学のお問い合わせは・・・

当事務所 TEL **(0885)-32-3357**

または ホームページ「暮らしを支える港湾と空港の話」
<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/komatsushima/>
よりお問い合わせください。